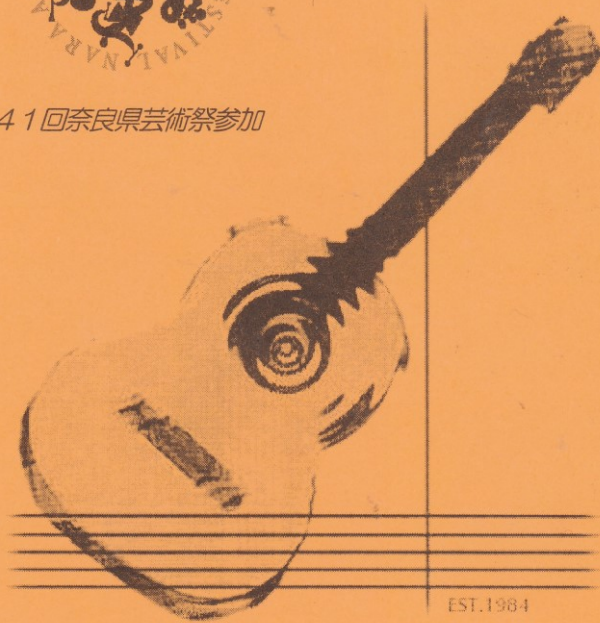


第 22 回

奈良ギター合奏団
定期演奏会



第41回奈良県芸術祭参加



2010. 10. 23 1:30 p.m.

ならまちセンター 市民ホール

プログラム

..... 第一部

クラシック合奏

ボッケリーニのメヌエット

パッヘルベルのカノン

交響曲8番「イギリス」 より
第3楽章



..... 第二部

独奏・重奏

独 奏 池永 彰吾

「おいらはキャベツ売り」による変奏曲 作品49番 より

独 奏 春元 靖弘

二人の天使

二重奏 北尾 美喜子・南 和子

主よ人の望みの喜びよ

二重奏 井内 悟・小田 順子

詩的ワルツ集

二重奏 藤戸 克行・渡邊 宣行

歌の翼に 精霊の踊り

50's アンサンブル

異邦人

サザエさん

風の丘

TSUNAMI

イン・ザ・ムード

..... 第三部

ポピュラー合奏

シボネー

キサス・キサス・キサス

アルハンブラの思い出

ジェームズ・ボンドのテーマ

オレ・ガッパ

エスパニャ・カーニ



曲目解説

第一部

「ボッケリーニのメヌエット」 作曲 ルイジ・ボッケリーニ

ルイジ・ボッケリーニは、イタリア生まれの作曲家、チェロ奏者です。同時代のハイドン、モーツァルトに比して現在では作曲家としては隠れた存在ですが、存命中はチェロ演奏家としても高名でした。

その作風は優美で時に憂いを含むものでありハイドンとの対比でハイドン夫人と呼ばれることもあるそうです。多くの作品の中でも、弦楽五重奏曲ホ長調 G275 の第3楽章は「ボッケリーニのメヌエット」として非常に有名です。

「パッヘルベルのカノン」 作曲 ヨハン・パッヘルベル

ヨハン・パッヘルベルは、バロック期のドイツの作曲家、オルガン奏者です。宗教曲・非宗教曲を問わず多くの楽曲を制作、コラール前奏曲やフーガの発展に大きく貢献したところから、バロック中期における最も重要な作曲家の一人に数えられます。

彼が生涯で作曲した唯一のカノンが、「3つのヴァイオリンと通奏低音のためのカノンとシーグ 二長調」で、その第1曲がパッヘルベルのカノンの名で広く親しまれています、パッヘルベルの作品のなかで最も有名な、そして一般に知られている 唯一の作品です。

交響曲8番「イギリス」より、第3楽章

作曲 アントニン・ドヴォルザーク

「新世界より」で、あまりにも有名なドヴォルザークですが、チェコ出身と言う事は意外と知られていないのではないのでしょうか？

標題の「イギリス」は曲の内容とは全く関係なく、ボヘミア的なもので明るい田園的な印象が特徴的な曲です。本日は、この中から全曲中最も有名な、第3楽章 Allegretto grazioso - Molto vivace ト短調 をお届けします。

第二部

「おいらはキャベツ売り」による変奏曲 作品49番 より

作曲 マウロ・ジュリアーニ

ジュリアーニはベートーヴェンと同時代に生きた作曲家兼ギタリストです。ギター用の変奏曲を沢山作曲していて、これはその一つです。かなり長い曲ですので今回は繰り返しや変奏曲の一部を省いて演奏します。

「二人の天使」 作曲 サン・ブルー

1970年にヒットしたあまりに有名な「ふたりの天使」。日本ではダニエル・リカーリが72年に来日し、魅惑的なスカットの美声で著名になりました。

「主よ人の望みの喜びよ」 作曲 J.S.バッハ 編曲 柴田健

2部10曲で書かれたカンタータ第147番「心と口と行いと命もて」の第6曲と第10曲に置かれ前半と後半の最後をそれぞれ締めくくる崇高な美しさをたたえるコラール。バッハの全作品の中でも特に有名でさまざまな楽器に編曲されて親しまれています。

「詩的ワルツ集」 作曲 エンリケ・グラナドス

グラナドスはスペインの作曲家でバルセロナを中心に活動したピアニストです。詩的ワルツ集は彼の二十歳の作品で同じピアニストのホアキン・マラッツに献呈されました。美しいメロディーと若々しい躍動感にあふれた爽やかで親しみやすい曲で、グラナドス自身が生涯にわたって好んで演奏したそうです。全9曲からなる愛らしい小品集ですが、本日はその中から序奏 I.メロディアスなワルツ II.情熱的なワルツ III.ワルツ・レント をお届けします。

団 員 紹 介

井内 悟	夕暮れの空にたくさんの色があることに気付きました。あなたが「ありがとう」の気持ちを表すとしたらどんな色になるんでしょう。今日、私達の演奏は精一杯のありがとう色です。どうぞ新しいキャンパスを開いてお楽しみ下さい。
池永 彰吾	入団して2回目の定期演奏会となります。昨年の初めての演奏会では思っていた以上に迫力ある演奏となり、大きな感動を味わうことが出来ました。これからも初心を忘れずに頑張りたいと思います
石原 智子	入団3年目、永遠の初心者です。*石の上にも3年 *継続は力 *好きこそ物の上手なれ。こんなの全部うそ!! ギターと合奏団と打ち上げが好きなのはホントです。今年もステージ、楽しみたいです。
岩井 道雄	皆さんに助けられ、弾けない曲も練習で弾けるようになる喜びは何ものにもかえがたいです。音楽って、ギターって、合奏っていいものですね。聴きにきてくださった方の貴重な時間が楽しい時間になるよう頑張ります。
大野 明子	入団して13年目になりますが、年々メンバーも多くなり、老若男女(私はどれ?)にギターキャリアも様々の中、なかなかベテランの仲間入りができません。目指すは定演!と練習を重ねた?つもりですが、はて、その成果はいかに?今年もいろいろな場所で演奏をすることが出来、緊張感と満足感に浸ることができました。
奥田 奈穂	仕事の関係で、演奏には参加できませんでしたが、本日は受付・案内役に合奏団への参加をしています。
小田 順子	今年は甲子園に5回、京セラドームに1回、東京ドームにも行きました。演奏会の頃には決まってるんでしょうね、阪神の優勝へ(〇)ノ
小田 良一	昔弾いていたギターをウン十年ぶりに再開しました。意気込みだけは十分です。迷惑かけないように演奏しますので.....(^^)
小田 則子	夏に入団させていただきました。どこを弾いているかわからなくなるということにだけはならないよう頑張ります。
北尾 美喜子	入団21年で、定演では始めて二重奏をします。さてどんな演奏になりますやら・・・ギターデュオの楽しさをお伝えできれば幸いです。
木村 史郎	数年ぶりに合奏団に参加します。また、新たな気持ちでギター合奏を楽しみたいと思います。
草 あけみ	平城遷都1300年祭の歴史の町で25年の歩みある奈良ギター合奏団の音色を楽しみいただけたら嬉しく思います。今年も参加させて頂いた事感謝しながら弾きたいと思います。
佐々木 康雄	定演の参加は50' S アンサンブルだけです3回目になります。毎月2回の練習日は先輩方の好リードがありとても有意義で、楽しいです。本日は「前回よりも今回はさらに・・・」の気概で臨んでまいります。
寺井 由紀子	年明けの初練習を見学に行ったとき、難しい新曲がもう音楽になっているすごさにビビり50Sだけとっていたのに、言い出せないうちに奈良ギターの方にも所属しもうすぐ一年、今ではどっぷりギターづけです。

浜口 輝夫	3月の定年退職を機に、4月末に入団。合奏団諸先輩方から、毎回多くのことを学び、自身のギターに対する姿勢も、激変しました。合奏団の皆様と、ギターに感謝しつつ、心を込めて演奏したいと思います。
浜田 正則	今年で2回目の定期演奏会の舞台になります。この一年間の練習の成果がでるよう、頑張って演奏します。
春元 靖弘	練習を重ねるにつれて、全体のハーモニーに磨きがかかってくるのが、楽しく、わくわくします。今年も、充実した演奏をお聞かせできるよう、がんばります。
藤戸 克行	今年も、フルート担当します。60の手習いですが、皆様の暖かい思いやりのおかげで、やっと聞いてもらえる演奏ができるようになったと思います。が、今年の演奏は、ちょっと手強い・・・うまく吹けなくても、暖かく見守ってやってください。
南 和子	奈良に住んで2年、入団2年目です。ギター合奏楽しいです。合奏団の方々と、聞きにきてくださった皆様に感謝!
宮 田 稔	和歌山生まれの大阪人で入団4年目です。いろんなジャンルのアンサンブルを楽しませてもらっています。
山 岡 家	今年も仕事の関係で、家を空けることが多い一年でした。妻と離れている事は苦になりませんが、ギターが弾けないのが辛い! (初彦) というわけで、今年は二重奏お休みです。(A&K解散の危機?) 合奏に全力を尽くします! (敦子) またパーカッションで参加させていただきます。歌って踊って叩けるOLを目指しています! (恵)
横山 伸幸	ギター好きの良き仲間仲間に入れられ早くも14年、今年もコントラバスと狭い我が家で悪戦苦闘しています。でも低音のない音楽はクリープのないコーヒー・・・低音の魅力をお楽しみください。
笠 慎一郎	入団24年。合奏団の中では生きた化石みたいな存在となりました。ポピュラーの編曲及びコンサート・マスターを担当しています。今年の北京オリンピックのスケートでキム・ヨナが使用した「007」の曲。他にも「エスパニア・カーニ」の曲も演奏します。どうぞ、お楽しみください。
渡邊 宣幸	ご来場いただきありがとうございます。仕事からリタイアし、子供にも卒業されて、ますます“用無し”になりつつあるこの頃ですが、ひょんなことでギターという楽しみをもつことができ、またこれを通していろんなふれあいができることを、とても幸せなことで感謝しています。
渡部 純子	この6月に2校の大学同窓会で演奏しましたが「平均年齢50歳後半とは思えない若々しさで、我々にもやる気と元気をいただきました」とお褒めいただきました。何を隠そう、グループの最年長者はこの私。これからもフレッシュな気持ちで日々の練習に心を込めて生きたいものです。
吉田 恵実 (司 会)	今年やっと念願の演劇を再開しました。が、監督さんから「舞台に立つんだったら、もっと体を絞らないとね。」と言われてしまいました。太ったおばさんの役ありませんか?
米田 哲也 (写真・映像)	記録係を続けて、はや18年。これまでも演者の足を引っ張らず、耳の邪魔にならないよう気をつけて、続けてきました。今年はアナログ終了まで1年を切り、合奏団の増員に併せて、地デジ並ハイビジョン対応のパワーアップに踏み切ります?